

(別紙4(2))



事業所名 グループホーム ふるさと

作成日: 令和2年 12月 17日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 7 10 18	現状では感染症拡大防止のため、面会の制限をさせていただいており、以前よりもご家族様との時間が減ってしまった事で不安を感じておられると考える。 面会が少なくなってもご家族に安心して頂くには？ また、利用者様に安全な環境で楽しく生活していただくためには？ 身体拘束や虐待を起こさないためには？	利用者様の普段の生活や受診結果等、細かな情報をご家族様に伝え、日常を把握して頂く。 写真等で目に見える物も取り入れながら、ご家族様に安心して頂けるよう取り組む。 利用者様には感染症対策を徹底した中で生活して頂き、その中で職員や利用者様同士の関わりや共有する時間を持ち、ご家族様に会えない寂しさや不安の軽減を図る。 ご家族様の不安の一つとして、身体拘束や高齢者虐待への不安もあると考えられる。 そのような事がないよう、職員会議や研修の中で身体拘束と高齢者虐待については議題として職員全体で十分に考え理解し、重くとらえるよう取り組む。	毎月のふるさと便りには、細かに利用者様の生活の様子や受診結果等を記載し、写真を添える事でご家族様に利用者様の日常生活を把握して頂く。 また、いつでも電話やメールで利用者様の状況や不安な事、疑問等問い合わせてくださるよう積極的に伝える。 利用者様には、日常生活の中で小さなイベントを開催したり、職員や他入居者様とのゲームや会話、ご本人の趣味等楽しんで頂けるようにする。 また、その楽しそうな様子をご家族様に伝えることで安心に繋げていける。 毎月開催している職員全体会議で2-3カ月に一回は身体拘束と高齢者虐待を議題に取り上げ、資料を用いる等して、理解を深める。	12ヶ月
2	19 25 55				
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。